

議会だより

経験することも
そなえること

9月定例会

令和3年度決算	P. 2
令和4年度補正予算	P. 6
町政を問う 一般質問	P. 8
町内の状況を視察報告	P.16
少年議会と町議会との意見交換会	P.18
シリーズ遊佐人⑪(遊佐小学校)	P.19
議会クイズ・編集室より	P.20

室内テントを組み立てる
町民体育館で避難所開設訓練
P.20に関連記事

一般・特別会計 歳出

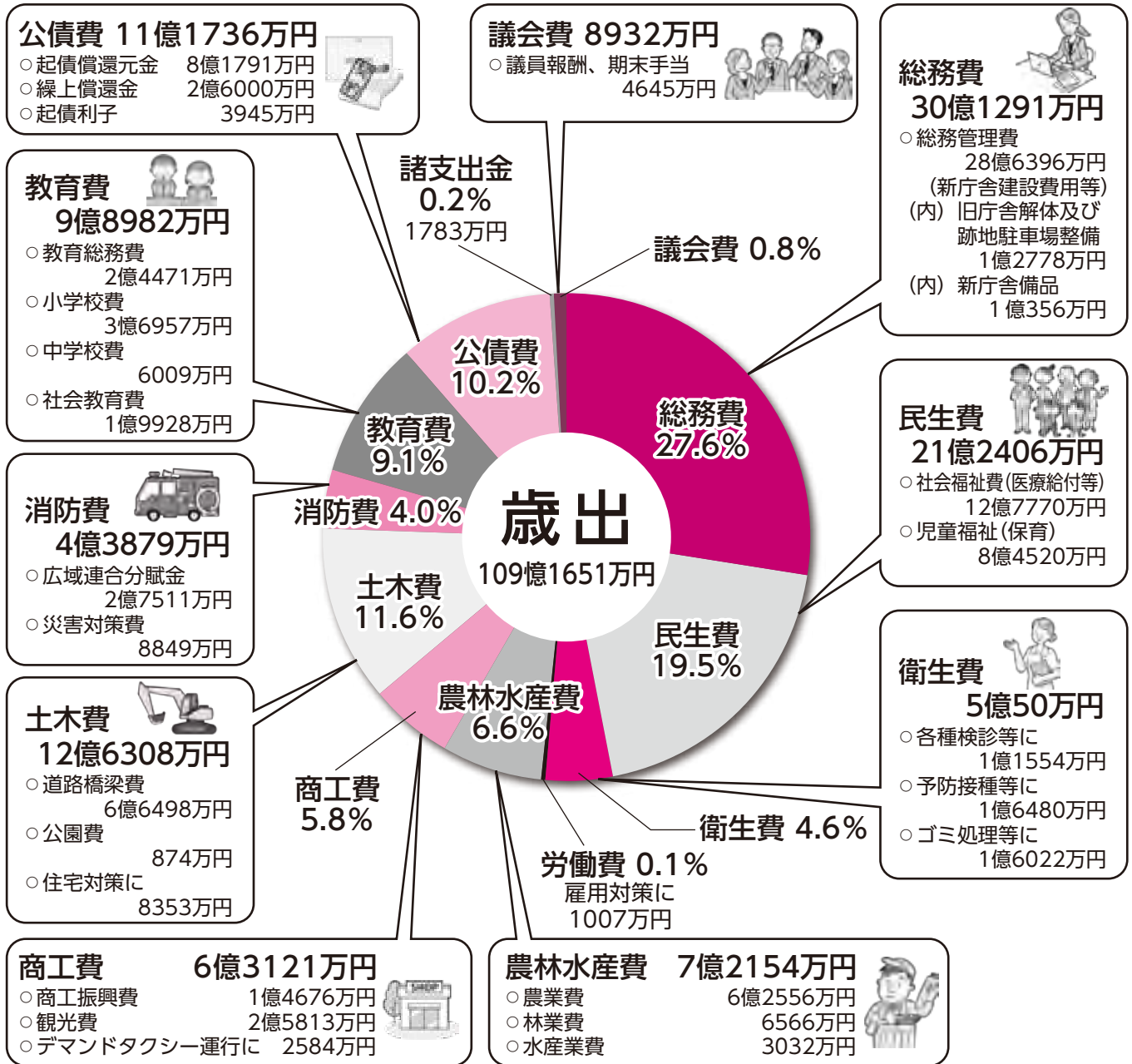
109億1651万円

2年度より3億8359万円(3.4%)減

づくりを

特別会計と町債残高

- ・国民健康保険会計は県が広域運営しているが、町単位での収支となるため、繰入のための基金が6305万円となり、保険料の見直しにせまられている。
- ・特別会計への繰入状況と、町債残高はP3下の表にまとめた。



特別会計決算

会計区分	国民健康保険	介護保険	後期高齢者	公共下水道	地域集落排水
歳出額	15億7207万円	19億14万円	1億9024万円	6億6845万円	8818万円
前年度比	1億432万円増	816万円減	357万円増	5365万円増	625万円減

水道事業会計

●収益的収入	4億1607万円
●収益的支出	3億7717万円
●純益	3890万円

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会・臨時会内容

委員会レポート

少年議会と意見交換会

遊佐人

**3年度
決算認定**

しばし我慢のとき 計画的なまち

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会・臨時会内容

委員会レポート

少年課と青年交換

遊佐人

一般会計

- ・歳入総額115億1420万円、歳出総額109億1651万円で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は5億4340万円の黒字額となっている。財政の弾力性を示す経常収支比率（欄外に解説）は2年度より4.6ポイント改善されたものの82.6%であり、さらなる経常経費の削減が望まれる。
- ・3年度の特徴としては新庁舎の開庁（8月）にともなう経費が必要となった。

その他依存財源 4億4978万円

<前年度比 4141万円増>
○重量税等の地方贈与税や地方消費税交付金

その他依存財源
3.9%

町税 13億6630万円

<前年度比 1億419万円減>
○町民税、法人税、固定資産など

町債 13億8530万円

<前年度比 1450万円増>
○国や金融機関からの借入金

町債
12.0%

町税
11.9%

繰入金
6.2%

**自主財源
33.7%**

国・県支出金 19億7018万円

<前年度比 10億5092万円減>
○国、県が町に対して、特定の事業を促進する目的で用途を指定して交付するもの
○国保やコロナ対策、道路のメンテナンス事業等に

国・県支出金
17.1%

歳入

115億1420万円

その他自主財源
15.6%

繰入金 7億1725万円

<前年度比 5041万円増>
○特別会計や基金からの繰入

地方交付税
33.2%

その他自主財源 18億0078万円

<前年度比 3億3412万円増>
○繰越金 6億1828万円
○ふるさと納税等 8億5094万円

**依存財源
66.3%**

地方交付税 38億2461万円

<前年度比 3億1050万円増>
○行政格差をなくすために国が交付

町債の年度末残高

会計区分	3年度	2年度
一般会計	98億677万円	94億9939万円
特別会計	42億8259万円	47億283万円
合計(A)	140億8936万円	142億222万円
その他(B)	9億2942万円	10億164万円
総合計(A+B)	150億1878万円	152億386万円

基金残高

区分	3年度末残高
財政調整基金	12億2596万円
遊佐町ふるさと基金	4億5656万円
遊佐パーキングエリアタウン整備基金	4億2003万円
遊佐町義務教育施設整備基金	3億3865万円
遊佐町公共施設総合管理基金	1億7089万円
その他の基金	7億7184万円

※経常収支比率：地方税、地方交付税などの経常的収入に対し人件費や公債費(借金の返済)など必ず支出しなければならない経常的経費の割合。70%~80%の間が望ましい。

3年度 決算 質疑

決算審査特別委員会 9月15日・16日

町税などが減収したのに対し地方交付税の増で補われ、100億円超の事業がなされた (P3参照)。

決算審査…予算執行が適正であるかをチェックするとともに、次年度の予算編成に改善と提案を求める場です



委員長 齋藤 武
副委員長 本間 知広

大量のアワビ種苗購入

問 3年度100万円の増額だが、養殖実証実験の成果は。

(那須 正幸 委員)

答 一定の飼育数を確保するための種苗購入費である。ふるさと納税の返礼品等、販路の拡大に努めていく。

養殖アワビ 提供先は

問 養殖アワビの提供は遊楽里だけでなく、他の町店舗でも可能か。

(那須 正幸 委員)

答 可能である。提供の依頼があった場合は、頒布要綱に基づき対応する。

養殖アワビを特産品に

問 養殖アワビは生産するだけでなく早急に販売事業者を選定すべきだ。

(高橋 冠治 委員)

答 販売に関しては、慎重に進める必要がある。遊佐ブランド推進協議会を法人化させ、販売ルー

トを築いていく。

藻場再生が課題

問 クロダイ・アワビ等稚稚魚の放流事業とともに、藻場の再生を重点に。

(阿部 満吉 委員)

答 水産資源の増加を図るため、放流事業は継続して実施する。藻場は整備後であるため、今後の状況を注視していく。

「さんゆう」の指定管理料は妥当か

問 管理料990万円の内訳はどの様なものか、今後変更は必要であるのか。

(高橋 冠治 委員)

答 さんゆう624万円と、3年度から新たに公衆トイレの維持管理に必要なふらっと分375万円である。

中山間地域等直接支払交付金

問 この交付金は山手の

産業課

農家に必要で、今後も存続が望ましい。

(齋藤弥志夫 委員)

答 現対策は、6年度までの期間で実施される見込み。中山間地域の営農のため、以降も事業継続を要望する。



中山間地域に色どりを

環境保全型農業直接交付金

問 環境を保全する農業とは具体的にどのような内容なのか。

(齋藤弥志夫 委員)

答 制度上は、堆肥散布、有機農業の実践等により

化学肥料使用の半減に取り組む農業を指すもの。

松くい虫防除委託料

問 松くい虫の消毒には地上散布よりラジヘリ散布の方が効果大きい。

(齋藤弥志夫 委員)

答 薬剤散布の手法等は、県や関係者と協議し、その効果について検証しながら実施していく。

森林環境譲与税活用基金からの繰入れ

問 基金から650万円ほど繰入しているが、実施した事業の内容は。

(菅原 和幸 委員)

答 森林経営管理事業実施計画策定のための基礎資料策定、青塚海岸林整備における伐倒、及び防風柵設置業務である。

企画課

山岳トイレ

問 鳥海山のトイレ経費が多額である。有料化について考えるべきでは。

(佐藤俊太郎 委員)

答 完全有料化だと使用できない人が生じるなど弊害もある。今後もチップボックスを設置し、協力と呼び掛けたい。

観光支援の成果は

問 コロナ対策として観光キャンペーンを実施しているが成果は。

(本間 知広 委員)

答 町内に宿泊した方に町の特産品をおくる事業を実施し、大変好評だった。町内産品の宣伝や需要拡大にもつながった。



好評な観光キャンペーン

総務課

地方交付税が増えたのは

問 2年度に比べ、地方交付税が増えた要因は。

(本間 知広委員)

答 国では、所得税等の収入が減少すると想定していたが、実際には国税は大幅に増加し、地方交付税の総額も増額補正され地方への配分も増えた。

PCB廃棄物処理

問 有害物質のPCBが処理された。今後さらなる処理の予定はあるのか。

(佐藤俊太郎委員)

答 2年に蛍光灯の安定器からPCBを抽出し保管していたものを今回で全て処分したので今後の予定はない。

防災行政無線の整備状況

問 以前より課題となっている不感地帯の改善はどのくらい進んだのか。

(赤塚 英一委員)

答 まだ吹浦地区の一部で不感地帯が残っている。4月から放送内容と同じ音声が開けるテレホンサービスを開始した。

防災テレホンサービス (25-0086)

問 テレホンサービスをはじめ、災害時の情報収集の啓発活動が必要では。

(赤塚 英一委員)

答 防災行政無線のテレホンサービスは、4月の広報でお知らせした。今後も防災訓練等の機会をとらえ周知したい。

教育課

勤労者研修センターの存在は

問 青山邸に隣接する研修センター、3年度の利用はあったのか。

(那須 正幸委員)

答 コロナ禍で研修機会や団体利用が得られず、関係者会議などの使用にとどまった。事業連携など利用促進に努めたい。

新小学校「校歌」

問 ホームページでは、あるタレントが作詞作曲とある。いつお披露目か。

(那須 正幸委員)

答 事務所の意向にも配慮し、公式発表は双方で調整した上で行っている。10月を目途として最終調整中である。

新小学校の校歌発表はいつか

問 校歌に期待を膨らませる児童も多いが発表がまだない。できない事情があるのか。

(高橋 冠治委員)

健康福祉課

後期高齢者医療

問 23億円を超える後期高齢者医療給付の負担の状況は。

(佐藤 光保委員)

答 国32%、県、町が各8%、64歳以下の人の負担が41%、その他保険料等となっている。

灯油購入助成より良い事業に

問 好評の灯油購入助成事業だが、より良い事業にするための方策は。

(本間 知広委員)

答 灯油価格が高い状況が続いているため、県で上乗せを考えている。さらに町も上乗せを考えている。

高齢者応援商品券

問 カード決済特典に参加できない高齢者等への商品券配布状況は。

(佐藤俊太郎委員)

答 対象世帯数は3634世帯で、500円券を7万2680枚交付した。利用率は97.9%であった。



防災無線

福祉灯油引換券

交付番号 001-1

◆この券1枚で灯油1,000円分を購入できます。

◆引換場所：遊佐町内の灯油販売業者(一覧表のとおり)

◆引換期間：令和3年12月16日～令和4年3月22日
(引換期間終了後の使用はできませんのでご注意ください。)

遊佐町長 時田博博



灯油券

4年度 補正予算質疑

4年度補正予算特別委員会 9月7日 基金に積増し備えを強化



委員長 那須 正幸
副委員長 菅原 和幸

補正予算

11億9600万円を追加し、99億6600万円に。財政調整基金に2億7170万円、ふるさと納税5億円歳入追加の中からふるさと基金に2億6000万円を積立てた。

ほかの主な補正予算

- 「新・道の駅」関連事業 9350万円
- ふるさと納税返礼品 1億5000万円
- 統合新小学校の準備事業 2380万円
- コロナワクチン接種事業 2700万円
- 除雪対策 4570万円



決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会臨時会内容

委員会レポート

少年議と意見交換

遊佐人

産業課

複数年にわたり
行う計画なのか

問 青塚海岸林の植栽は、3年に続き実施されるが。

(菅原 和幸 委員)

答 現場状況を協議し対応することとしており、5月の町政座談会で集落からの要望等があり、実施することになった。

遊佐駅の
にぎわい再生は

問 遊佐駅に、新しく冷凍食品自販機を設置とのことだが。

(阿部 満吉 委員)

答 遊佐ラーメン・餃子・遊佐カレーなど、遊佐フードの冷凍商品を、24時間対応で販売する計画である。

企画課

「新・道の駅」
整備工事費の内訳は

問 多額の補正。整備工事に防災対策の配慮はなされているのか。

(佐藤俊太郎 委員)

答 4年度から事業用地の盛土を進めるが、最終的な敷地造成高はハザードマップを考慮して計画している。

湧水フォーラム
いつ開催

問 「湧水フォーラム」の開催計画があるが、時期や内容、招聘者は。

(佐藤 光保 委員)

答 12月中旬に総合地球環境学研究所の名誉教授ほかを招き、講演等を通して水循環に関する理解や保護の機運を高めていきたい。

テレワーク・
ワーケーション体験

問 遊佐町テレワーク・ワーケーション体験支援事業とは。

(佐藤 光保 委員)

答 本町でテレワーク移住体験・ワーケーション滞在する県外在住者の交通費と宿泊費を補助。補助率2分の1、上限ひとり5万円。

※ワーケーション：「ワーク」と「バケーション」を組み合わせた造語で、非日常の土地で仕事をし、より良いワーク＆ライフスタイルを実施することができる1つの手段。

海水浴場整備事業の
補正は

問 十里塚海水浴場整備が、この時期予算化される理由は。

(赤塚 英一 委員)

答 想定外に砂の堆積と漂着ゴミが散見されたため、既決予算内で影響の無い範囲にて先行した事業執行への補填。

遊佐高校魅力化支援策

問 将来的には、寮を含めた生活支援も考える必要があるのでは。

(赤塚 英一 委員)

答 3年度、遊佐高校魅力化に係る地域連携協議会を発足した。どういった支援が良いのか、会の中で議論していく。



来ちゃいなよ遊佐高

総務課

通信運搬費
なぜ大きく追加

問 文書管理費のうち、通信運搬費が400万円も追加されるのはなぜか。

(齋藤 武委員)

問 2年度からの課税誤りに伴う事務処理等が継続しており、費用が増加している。

町民課

システム改修で
より便利に

問 システム改修によりコンビニで何ができるようになるのか。

(本間 知広委員)

答 マイナンバーカードの活用で、コンビニで「住民票」と「印鑑証明書」の交付ができる。毎日6時30分～23時まで。

住宅建設対策費は
足りるのか

問 コロナ禍だが新築も伸びている。資材高騰で今後心配されるが。

(高橋 冠治委員)

答 前年度比で申請件数は若干少ないが、資材高騰により建築費が増えている。予算を追加して支援を継続する。

栄橋撤去工事は

問 栄橋撤去工事に伴う土地賃借料とは。

(齋藤弥志夫委員)

答 工事車両の通行に支障があるため、白木地内の交差点の一部を拡幅する必要があり、その用地を借用する。

地域生活課

乗用草刈り機の更新

問 公園は様々な管理費用がかかるが補正内容は。

(齋藤弥志夫委員)

答 遊ぼつとの乗用草刈機3台の内1台が今春に故障した。古い機械で修理がきかず、新たに購入するもの。



乗用草刈り機

月光川水系環境整備
とは

問 月光川水害予防組合解散後の環境整備をどのように行うのか。

(齋藤弥志夫委員)

答 河川の草刈はこれまでどおり町が引継ぎ、新たに「町河川情報連絡会」を設置し、情報収集等を行っていく。

関係自治体との
情報共有を図るべき

問 「全国洋上風力発電市町村連絡協議会」の負担金とあるが、参加する目的は。

(菅原 和幸委員)

答 国の「遊佐沖法定協議会」が進められている中で、先行区域の事例や情報を収集し、参考にしていこうというもの。

教育課

町史下巻
編さんの現状は

問 印刷製本は3年度発注されたはずだが、編集委員報酬の増額の内容は。

(菅原 和幸委員)

答 町史下巻の内容充実のため、4年度に予算を繰越し、作業を進めている。実務者会議の開催増などで報酬を増額した。

新小学校の工事費等
整備は補正ありきか

問 学校管理費が2380万円増額補正だが、当初予算に組み込めなかったのか。

(高橋 冠治委員)

答 基本的に当初予算に計上済みだが、不測の事態への対応や、事後的に必要な経費のために補正措置を講じた。

健康福祉課

子育て移住
増えているのか

問 子育て世帯移住奨励金が増額だが、想定より増えているのか。

(本間 知広委員)

答 4年度は8人を見込んでいたが、3年12月から今年の8月まで、14人となっている。



リニューアルして待っています

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会・臨時会内容

委員会レポート

少年課と青年会

遊佐人

一般質問

町の事業と課題を問う

11 議員登壇

9月8日・9日

一般質問通告の要旨(通告順)

※誌面の都合上、掲載できなかった質問は議会ホームページの議会録画をご覧ください。

菅原 和幸 議員 …… P 8

●人口減少を見据えた行政運営を

齋藤 武 議員 …… P 9

●新教育長 施政方針は

松永 裕美 議員 …… P 9

●高齢者のための

地域交通の在り方は

那須 正幸 議員 …… P 10

●マイナンバーカード

身近になったか

赤塚 英一 議員 …… P 10

●生活基盤に対する

考え方と将来像は

齋藤弥志夫 議員 …… P 11

●子どもを受動喫煙から守るには

佐藤 光保 議員 …… P 11

●気候危機対策は

本間 知広 議員 …… P 12

●水道事業耐震化更新計画とは

阿部 満吉 議員 …… P 12

●まちづくりの課題は

高橋 冠治 議員 …… P 13

●スクールバスの安全対策は

佐藤俊太郎 議員 …… P 13

●樹木管理の現状は

一般質問とは

町の行政全般にわたって、問題や課題を明らかにし、政策の改善や新規の政策の採用を求めるために行います。

人口減少を見据えた

行政運営を



菅原 和幸 議員



町長 住宅政策を伴った定住促進施策を
推し進める

問 人口減少が進むなか、町有施設の指定管理料が、4年度は1億円を超えた。「新・道の駅」も将来的に指定される予定なのか。

問 今後は、人口減少を最重要問題とし、政策立案、実行すべきであると考ええるが。

答 公の施設の条例を制定し、指定管理者を募集。町の選定委員会で事業者を選定、その後、議会の議決を経て決定する。指定管理料は、契約書・仕様書で設定する。

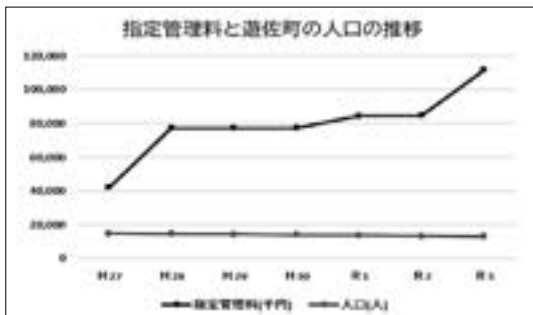
答 幅広い分野で定住促進施策を整え常に更新し、青葉台・舞鶴の定住住宅地のように住宅政策を伴いながら推進する。

問 「新・道の駅」の計画で、施設ごとに「事業用定期借地権」を設定、賃借料を得る検討はできないか。

問 これも質問 町内保育施設の定員充足率及び3保育園全体の収支の現状は。

答 制度の詳細を把握したうえで、「新・道の駅」

答 町立保育園、杉の子幼稚園、はぐの家をまとめた充足率は、86・8%となっている。また、保



質問者の動画が見られます。



新教育長 施政方針は



たけし さいとう 議員



先進性・創造性のある教育行政を推進

質問者の動画が見られます。



問 小学校統合まで約半年になった。放課後の子どもの居場所の安定的確保や、PTA活動の在り方など詰めるべき事柄が多いが、準備状況は。

答 放課後子ども教室は、統合後も各地区の実情を踏まえ実施する方針で動いている。PTA組織・規約・活動の方向性も準備委員会で決定している。

問 遊佐中学校では4年度から定期テストを廃止した。どのようにして学力を担保していくのか。

答 学習指導要領改訂で、知識・技能重視から学びの個別最適化のため、単

元テストと学期末診断テストを実施している。

問 違いを認め合う共生社会の推進のため、教育現場ではより一層配慮が必要ではないか。

答 「誰一人取り残さない」という心を醸成するために、学校教育全体を通して多様性を認め合う活動を展開している。



小学校陸上競技大会（遊佐小）

高齢者のための

地域交通の在り方は



ゆみ まつおか 議員



実効性のある交通システムの構築に努める

質問者の動画が見られます。



問 免許返納後も町民の足となり移動に困らぬよう、電動小型カーを用いた自動運転システム導入を町でも取り組む考えは。

答 実証実験の結果と導入及び維持費用を検証し、適正な交通規模とサービスの需要供給のバランスを見定めて、慎重に検討して行く。

問 町民の足として日々稼働しているデマンドタクシーの過去3年の乗車状況は。

答 元年〜2年は、コロナ対策等により乗車人数が減少。その後は、約8900人で横ばいの数値で推移している。

問 公共交通の在り方のアンケートをとり将来に向け準備しては。

答 公共交通の在り方の検討には、交通量等の調査やアンケートが必要であると認識している。実施の要否は検討する。

これも質問 いじめに対応する相談窓口は。

答 基本方針に基づき、主に教頭や担任が務め、組織的に対応している。



デマンドタクシーは高齢者の大切な足

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会・臨時会内容

委員会レポート

少年少女意見交換会

遊佐人

マイナンバーカード 身近になったか



西村 正幸 議員



町長
「らくらく窓口証明交付でより身近に

質問者の動画が見られます。



問 当町の申請数は3年度県内で最下位であったが、新庁舎になって窓口を訪ねる人たちが多くみられる。今の状況は。

答 8月31日現在、申請率50・29%、交付率43・87%。3年度初めから大幅に伸びているが、国・県の交付率より下回っている状況。県内では17番目である。

付サービス」を導入予定。続して行う。

問 エルパや、各町づくりセンターでの「出張窓口」は、これからも続けていくのか。

答 エルパ、まちづくりセンターの他、集落や団体等の出前講座、ご自宅での申請サポートなど

これも質問 「お悔みハンドブック」作成で手続きが分かりやすくなるのでは。

答 ご遺族が利用しやすいく、職員も説明しやすいものに改善していく。

答 4年度中にカードを活用した住民票等の「コンビニ交付」役場窓口「らくらく窓口証明書交



マイナンバーカード申請コーナー

生活基盤に対する 考え方と将来像は



赤塚 英一 議員



町長
移動販売、創業支援と併せて
買い物支援に取組む

質問者の動画が見られます。



問 地域に密着した小さな商店がなくなり、買い物が困難な状況になってきている。生活基盤の考え方とその将来は。

答 「福祉タクシー券を有効活用した、交通手段の確保」「移動販売事業者への助成」「地元密着型の店舗の拡充による、商店街の再生」の対策により、進めていく。

問 買い物は社会との接点の一つと考える。孤立を防ぐためにも対策を考へなければと思うが。

答 地域課題解決及び買い物環境充実支援事業など、支援内容、財源の確保等について、関係部局で協議を行い取組む。

答 新たな事業等に取組む場合、遊佐町産業活性化対策事業制度の創業等支援補助金を活用することが可能。



移動販売車



子どもを受動喫煙から守るには



志夫 藤 齋 議員



児童・生徒への喫煙防止教育に取組む

問 子どもは自らの意志で受動喫煙を避けることが困難であり、保護の必要性が高い。学校教育はどう考えるか。

答 健康教育の一環として受動喫煙の正しい知識を持ってもらうため、保健授業の充実を図りたい。

問 WHO（世界保健機関）では全面禁煙化を進めている。遊樂里やふらっとも全面禁煙にしては。

答 将来的には全面禁煙としていくべき。町が条例化に踏み切った時には全面禁煙に向けた議論がなされていく。

問 子どもの受動喫煙防止には、教育現場の教育や指導、さらに家庭に知らせることも必要である。

答 学校では、全面禁煙が徹底されている。家庭においても受動喫煙の実態把握のために、PTAの協力を得ていきたい。

これも質問
問 肥料が高騰している。農家は大変。農産物の再生産ができる施策を。

答 引き続き国の関係施策を活用しながら、地域に必要な独自支援を実施する。

質問者の動画が見られます。



文部科学省HPより

気候危機対策は



光保 佐藤 議員



ゼロカーボンに向けた意識の啓発に努める

問 気候危機対策は、地域と一緒に促進し、雇用を生んで地域経済を回すことが肝要だ。再生可能エネルギーの導入に関する支援策の拡大は。

答 新しい再生エネルギー、地域、若者の働き場を創ることは必要。新たな設備への対応や現行の助成内容の見直しの検討を進める他、省エネ、ゼロカーボンに向けた意識啓発にも努める。

問 「遊佐沖洋上風力発電を考える会」から公開質問状が提出されているので誠意ある回答を望む。

答 8月26日に公開質問状を受け取った。町の考えを受け取った。町の考えを公開していききたい。

これも質問
問 給食の無償化の今後は。

答 今後の物価上昇の推移も注視し、食材単価の上昇分に対する補助を検討していききたい。

質問者の動画が見られます。



問 「ゼロカーボンに向けた現況調査事業」の進捗状況はどうか。

答 環境省他各種機関で公表している統計資料等を活用し、温室効果ガスを活用し、



出典：再生可能エネルギー情報提供システム【REPOS(リーポス)】(環境省)



水道事業耐震化更新計画とは



ともひろ 知広
ほんま 本間 議員



町長 大楯浄水場建屋の改築を進める

質問者の動画が見られます。



問 計画期間は10年であるが、その間も人口減少の影響で水道料金が高くなるのが心配される。この計画が目指しているものは何か。

答 今後の経営状況を考え、費用削減の観点で「経営部分のみ」の統合を検討していく。

問 いつでも水が出るようにするには夜間の管理

答 町シルバー人材センターに、中央監視システムがある大楯浄水場の夜間管理を委託している。

答 水道の安全・強靱・持続のため、14年度を目標年度とし、主に大楯浄水場第2水源建屋改築、平津配水池緊急遮断弁設置、基幹管路の送・配水管更新等施設設備の耐震化を進めるもの。

問 事業の広域連携を検討しているようだが、どのようなことを検討しているのか。

答 県や酒田市の水が町にくるとのことではな



改築が計画されている大楯浄水場第2水源建屋

まちづくりの課題は



みつよし 阿部 議員



町長 町民意見の反映に努める

質問者の動画が見られます。



問 新庁舎が出来、小学校統合を5年度に控え、町の大型事業は節目を迎える。まちづくり基本条例に基づく課題の検証はなされているのか。

答 必要な財源は確保できると考えている。

問 5年度から廃校となる校舎の利活用と、その管理はどこで担うのか。

答 現在、企画課所管で空き校舎利活用検討委員会を開催し、利活用基本計画の策定と、利用形態に応じた管理体制を検討している。

答 条例の内容は現在の情勢と照らし合わせても十分機能しており、政策形成過程の情報公開と町民意見の反映に努めている。

問 人口減少の中で、今の一般会計・特別会計130億円規模の予算は組めるのか。

答 町の主要収入である町税、地方交付税などの中長期的な収入見込み、また、各年度の事業精査



新庁舎前に緑を



海水浴シーズンになると、ゴミステーションに集落以外の、レジ袋入りのゴミが見受けられます。不法投棄よりはマシかとは思いますが。(吹浦Sさん)
Re: ゴミ収集車でも悩みながらの収集です。

スクールバスの安全対策は



たかはし かんじ
議員



安全に登校できるよう乗車指導

質問者の動画が見られます。



問 遊佐小学校のスクールバスは1路線だが、新校では10路線に増便され、利用児童数も323人と見込まれ全体の70・7%にあたる。対策は。

る規格に整備しているが、なお安全に留意し運行するように徹底する。

問 多くの車両が朝の時間帯に集中する。徒歩通学の児童も含め対応は。

答 徒歩通学の児童と重なることも想定しているが、立哨指導のほか、保護者等の車は体育館前駐車場の利用をお願いする。

答 遊佐小学校以外の4校の児童は全員バス通学となる。新路線の運行開始に向け、乗車するバス停から安全に乗車し、安心して登校できるよう乗車練習及び乗車指導を行う。

問 北側町道は拡幅工事で7mになるがバスがすれ違うには6m以上必要である。安全か。

答 拡幅後の幅員は大型バスが問題なく通行でき



蕨岡線スクールバス

樹木管理の現状は



さとう しんたろう
議員



各施設の状況に応じて対応

質問者の動画が見られます。



問 教育課管理施設内の樹木等の管理はどのようなか。

問 手入れを確実に実施することで、伐採せずに管理できるのでは。

これも質問
問 「躍動」する遊佐っ子10か条の精神は、踏襲するの。

答 学校や生涯学習センターの樹木等の管理は、例年一定の予算措置を講じながら、日常的な業務の中で点検を行っており、必要に応じて剪定等を行っている。

答 今後も全体を見通して現状の把握と日常の管理に務めていく。学習環境に資するため、子どもの学びの環境にも役立てたい。

答 多くの英知を結集し、平成27年に制定したもので、更なる浸透を図っていく。

問 遊佐小学校西側のメタセコイアを伐採した理由は。

答 樹木の巨大化により、周辺家屋や道路にも支障をきたす恐れがあり危険性が高かったため、安全を最優先に伐採を実施した。



支障木の実態

町民と議会の懇談会

開催日: 令和4年11月12日(土)
午後1時30分～(概ね2時間程度)



開かれた議会を目指し、町民の皆さまに議会の活動状況について、知っていただくとともに、議会に対するご意見や町政に対するご提言等をお聴かせいただくため、「町民と議会の懇談会」を開催いたします。

皆様のお越しを心よりお待ちしております。



- ① 「新・道の駅」の構想
- ② 岩石裁判の経過と報告
- ③ 小学校統合後のまちづくり
- ④ 洋上風力発電
- ⑤ その他



※町内3カ所で開催しておりますので、ご都合のよい会場へお越しください。

お問い合わせは

遊佐町議会事務局
電話: 72-5889
電子メール:
gikai@town.yuza.lg.jp

	会 場	議員メンバー
A 班	遊佐町役場 議場	那須 正幸 菅原 和幸 土門 治明 本間 知広
B 班	稲川まちづくりセンター	阿部 満吉 赤塚 英一 松永 裕美 齋藤 武
C 班	高瀬まちづくりセンター	斎藤弥志夫 高橋 冠治 佐藤 光保 佐藤俊太郎

7月臨時会【7月22日】の議案内容（一般会計補正予算）

議案番号	議案名	内容
議 55 号	令和 4 年度遊佐町一般会計補正予算（第 3 号）	PayPay20%還元事業で6000万円、肥料高騰対策費に3024万円など1億8000万円を追加し総額87億7000万円に
議 56 号	遊佐小学校駐車場整備工事請負契約の締結について	遊佐小学校駐車場整備工事に5170万円で契約を締結するもの

全議案 全員賛成で可決

〈傍聴者 0人〉

9月定例会の議案内容（一般会計補正予算、他12件）

議案番号	議案名	内容
議 57 号	令和 4 年度遊佐町一般会計補正予算（第 4 号）	除雪経費4570万円、新小学校の整備工事費などに2380万円など11億9600万円を追加し、総額99億6600万円に P6～7に審議内容を掲載
議 58 号	令和 4 年度遊佐町国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）	被保険者保険税過納等還付金に100万円など117万円を追加し、総額15億2617万円に
議 59 号	令和 4 年度遊佐町公共下水道事業特別会計補正予算（第 1 号）	高速道路建設に伴う管移設工事費に1200万円など3300万円を追加し、総額7億200万円に
議 60 号	令和 4 年度遊佐町地域集落排水事業特別会計補正予算（第 1 号）	施設の光熱水費に230万など430万円を追加し、総額9530万円に
議 61 号	令和 4 年度遊佐町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	補助金等返還金として1997万円など3836万円を追加し、総額19億6136万円に
議 62 号	令和 4 年度遊佐町後期高齢者医療特別会計補正予算（第 1 号）	一般会計へ繰出金として100万など105万円を追加し、総額2億1105万円に
議 63 号	令和 3 年度遊佐町各会計歳入歳出決算の認定について	3年度一般会計及び各特別会計決算の認定 P4～5に審議内容を掲載
議 64 号	遊佐町災害対策基本条例の一部を改正する条例の制定について	災害対策基本法の改正に伴い規定の整備をするもの
議 65 号	令和 3 年度遊佐町水道事業会計剰余金の処分について	3年度剰余金3707万円は繰越剰余金に加えられ、総額が2億4723万円に
議 66 号	遊佐町農業委員会委員の任命について	11月30日で任期が切れることから、16名の委員の任命に同意するもの
議 67 号	遊佐町固定資産評価審査委員会委員の選任について	佐藤邦彦氏の任期満了に伴い、土門敏之氏の任命に同意するもの
議 68 号	人権擁護委員候補者の推せんについて	任期満了に伴い、小田原裕氏の再任に同意するもの
議 69 号	遊佐町民体育館アリーナ照明 L E D ・天井改修工事請負契約の締結について	老朽化に伴う体育館の照明・天井の改修工事に5280万円で契約するもの

全議案 全員賛成で可決

〈傍聴者 のべ16人〉

賛否が分かれた議案

議案番号	議案名	採決結果
請願 2 号	消費税インボイス制度の実施延期を求める意見書を政府に送付することを求める請願	不採択（1:10）

実施日 8月16日

大平山荘 視察

利用者の声で個室化

大平山荘の大広間が個室化され、3年度10月19日に完成。4年度からの利用が可能になり山荘の利用客向上が期待される。利用者の中には、日差しや室内に熱がこもることから、エアコンの設置を望む声も出ている。その現状を視察した。



視察を終えて

阿部 満吉委員

宿泊施設は快適に

間仕切りの関係で風が通らないのが原因か、登山客の最大の敵は暑さなどでの寝不足などが原因での体調不良である。トラブルなど避けるためにもエアコンの設置は必要。



(大平山荘ロビー)

山荘の火山災害対策は万全か

登山者にとっては欠かせない施設である大平山荘。災害に対する備えも必要であるが、運営は第3セクターである。避難訓練・避難所開設の実施は必要。

視察を終えて

那須 正幸委員

LINE活用で避難周知を

大平山荘は避難所になる可能性もある。登山者への避難指示や情報は無線では届かない。デジタルツールの活用も考えるべき。

遊楽里・あぼん西浜視察

個室化で利用拡大を目指す

「公共施設の長寿命化の取り組み」はどうする

のか。建物の経年劣化を改善する必要がある。秋には、遊楽里6階の個室化が予定されている。

視察を終えて

高橋 冠治委員

修繕でも、数億円単位

あぼん・遊楽里は町にとつては観光施設の拠点である。あぼんは、建設から35年、遊楽里は25年経過。修繕費は数億円単位と見込まれる。

メンテナンス用品の供給は

「鳥海・ふれあいと創造の里づくり事業」の指定を受け、昭和62年に建設された、あぼん西浜。一番古い施設である。(写真は、あぼん西浜の温湯ろ過機。更新工事の予定もある。)

視察を終えて

菅原 和幸委員

癒しの場を今後も



町民以外のファンも多い。必要に応じ関連施設の改修も行い、癒しの場を今後も提供したい。

遊佐高校男子寮視察

学生寮の設備は適正か

野沢寮に4名・八日町寮に4名の県外留学生が生活している。きれいな環境で楽しく留学生生活を。

メンテナンス用品の供給は



視察を終えて

斎藤 弥志夫委員

男子寮の老朽化が進んでいる。できるだけ近代的な住まいが望ましい。

視察を終えて

阿部 満吉委員



(八日町宿舍の敷地内)

敷地内の草木の整備や、健康管理も必要。ハウスクリーニング業者や、持ち主と相談し環境改善すべきだ。

ICT・DX支援

スマホ教室を実施

ICT推進室が設置され1年が経過。これから取り組むDX支援事業について意見交換を行った。

視察を終えて

松永 裕美委員

デジタル推進計画の重要性

スマホが、誰でも気軽に使える教室がDX支援事業として行われる。町民に寄り添い優しい街であってほしい。

その他(座学)

- 遊佐高校魅力化(企画課)
- 地域協力隊との意見交換
- 電子決済による町税の状況(町民課)

実施日 8月5日

遊佐浄化センター視察

施設の修繕に向けて

公共下水道事業の要ともいえる浄化センターは平成7年に供用が開始された。現在は特に建物の経年劣化が進んでいる。4年度では建物の耐震化を図るための調査を行っている状況だ。



視察を終えて

本間 知広委員

下水道施設の現状とこれから

多額の繰出し金が課題となっている下水道事業。さらに今後は施設の修繕費がかさむことが予想される。

船絵馬修復状況視察

未来へ向けて修復

漁業や海運の安全祈願のため奉納した「船絵馬」をご存じだろうか。現在青塚・白木・服部興野などの神社に保存されており、合わせて91点が町の文化財に指定されている。劣化が進み、はく離や破損が生じていることから2年度から県の補助を受け、保存修復作業を行ってきた。



(青塚 諏訪神社に保存される多数の船絵馬)

視察を終えて

齋藤 武委員

船絵馬保存状況

世代を越えて保存に努められた集落関係者に敬意を表する。県の「未来に伝える山形の宝」にも登録されており、未永く保存活用されることを望む。

鳥海南工業団地視察

新たに「バイオマス発電所」を建設

鳥海南工業団地に現在バイオマス発電所が建設中である。出力は5万2900KWで、燃料は主に木質ペレットと呼ばれるものを使う。6年度中の運転開始を予定。気象の影響が少なく昼夜を問わず発電が可能。

視察を終えて

佐藤 俊太郎委員

バイオマス発電

気象の影響なく発電できることは、安定した供給につながり重要である。

将来は県産ペレットの使用を望む。



(バイオマス発電の説明を聞く)

日沿道視察

全線開通へ期待

5年度中に整備予定の「遊佐鳥海IC」周辺工事の進捗状況を視察した。南山集落から丸子集落に伸びていく道路からは真正面に鳥海山が見える。県境部分の開通は8年度を予定。

視察を終えて

本間 知広 委員

鳥海山の絶景活かす

道路から見える鳥海山

の絶景を活かしていくことができれば、「新・道の駅」との相乗効果にも期待。



(南山から鳥海山を望む)

その他(視察先)

- 月光川河口
- 十六羅漢付近不法投棄
- 廃棄物ステーション
- 金俣地内農道復旧状況
- さんゆう屋根修繕状況
- 三ツ俣農地利用状況
- 杉沢地内圃場整備

ゆざまちのいい所・再発見

第20期少年議会との意見交換会

4回目となる少年議会と遊佐町議会との意見交換会。

「魅力発掘いいとこどり！～ゆざまちを更に知ってもらうには～」

というテーマで、今後どうアピールするか…を熱く語り合いました。

(9月30日開催)

A班



「田舎あるある」方言やゆざまちの日常をSNSなどで伝えよう

B班



人とひととの関わりで「ゆざ人」を増やし、ゆざストーリーを発信

C班



「ゆざのおいしい」をふるさと納税の返礼品に

D班



海から山まで、「3分で行け 楽しめるゆざ！」
キャッチコピーやパンフレットで発信

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会・臨時会内容

委員会レポート

少年議会と意見交換会

遊佐人

シリーズ 遊佐人 11

Yuzajin

鳥海の高きに向かう子

遊佐小学校

令和5年に町内5小学校は統合し、新生遊佐小学校としてスタートします。地区の核となってきた小学校。それぞれ個性があり伝え残したいことを取材します。
第5回目は、遊佐小学校にお話を伺いました。



こいのぼり設置



イバラトミヨの巣作り観察

遊佐小学校は、明治7年に本願寺を借用した「安養学校」が前身とされています。その後、野沢尋常小学校と統合し、現在地（吉出字和田13番地）に「遊佐尋常高等小学校」が創立されてから、今年で113年を数えます。

学区内には、「おくりびと」のロケ地としても有名な月光川が流れ、毎年自然に孵化した鮭が遡上する豊かな自然の中に立地しています。



健康優良学校日本一のパレード

本校は、昭和48年に日本一健康優良学校となり、記念として校庭に「鳥海の高きに向かう子ら」の像が建てられました。その他にも読書活動や食育活動等において全国表彰を受け、本校を卒業した先輩や歴代の教職員、保護者、地域の方々により、数々の実績を残してきました。

秋篠宮殿下の前で 学習発表

本校は、生活科、総合的な学習を中心に、地域に根差した教育を進めています。中で

も、中庭にあるビオトープを活用した希少種イバラトミヨの環境保全活動は、「湧水保全フォーラム全国大会inおさがき」「同秋田大会」では、秋篠宮殿下の前で堂々と発表し評価をいただきました。

その他、ジオパークの学習や小山崎遺跡の学習など、フィールドを遊佐町全体に広げながら、たくさんの地域の先生方のご協力をいただき、ふるさと学習を進めています。



ファミリートーク 毎年大人気

ファミリートークと お月見読書会

本校のPTA活動は大変活発で、PTA保体部を中心に、県縦断駅伝の出発地である月光橋の傍に数十匹のこいのぼりを設置するなど登下校の子どもたちばかりでなく、地域住民、駅伝選手の方々にも大変喜ばれています（毎年多くの地域の方々からご協力いただいている事業。また、授業参観に行うファミリートーク（保護者による職業紹介）も毎年大人気で、子どももキャリア教育を進める上で、大変意味のある活動を行っています。また、お月見読書会も好評です。

さらに、PTA総務部が主催する「お月見読書会」は恒例行事となり、ほっこりした時間を過ごすことができます。他にも親子読書の取り組みを全学年で行うなど、メディア

地域とともにある 学校づくり

コントロールを進めながら、読書を通して親子の絆も深まる活動が活発に行われています。

コミュニティ・スクールとしてスタートしてから、4年度で6年目を迎えました。その間、体育館を避難所とした防災訓練が実現し、登下校時の安全確保のために、従来の見守り隊に加え、下校時の「※ながら見守り隊」が実現するなど、地域との連携が一層進みました。

「遊佐に学び、遊佐を元気にする教育課程」づくりに向けて、今後とも教職員一同邁進いたします。



見守り隊、ながら見守り隊のご協力

決算審査

補正予算審査

一般質問

定例会・臨時会内容

委員会レポート

少年少女委員会

遊佐人

(19) ※ながら見守り隊：買い物しながら、散歩しながらの見守り隊 ゆぎまちづくりセンターにて隊員募集中

議会を傍聴してみませんか 12月定例会のご案内

遊佐町議会は、年間4回の定例議会が開催されます。

12月定例会は、本会議と補正予算審査特別委員会が議場で行われます。一度傍聴してみませんか？

12月定例会の予定

- 12月6日(火) 本会議・一般質問
- 12月7日(水) 一般質問
- 12月8日(木) 常任委員会
- 12月9日(金) 補正予算特別委員会
本会議

※変更する場合もございますので、傍聴の際はあらかじめ議会事務局(☎72-5889)にご確認ください。

議会クイズ

114



令和4年8月1日157号の議会クイズには35名の方の応募があり、34名の方が正解でした。抽選の結果次の10名の方が当選し、米うちやんスタンプカードお買い物券1000円分を、お届けします。

答え ①B ②A ③A

(敬称略)

- 高橋 ちや子(駅前一)
- 石倉 正樹(西谷地)
- 佐藤 正(当下)
- 渋谷 仁史(駅前二)
- 佐藤 孝治(小野曾)
- 渋谷 和子(十日町)
- 阿部 幸(十日町)
- 島中 憲子(湯ノ田)
- 藤山 えい子(青塚)
- 富樫 睦子(下当下)

- 自動販売機か。
- A 健康食品
 - B 冷凍食品
 - C ダイエット食品

③あぼん西浜は何年に建設されたか

- A 昭和25年
- B 昭和35年
- C 昭和62年

応募方法

ハガキに答えの記号

(例)①A ②B ③C
住所、氏名、年齢、集落名を書いてください。

(正解者の中から10名様に米うちやんスタンプカードお買い物券1000円分をお届けします。ご応募いただいた方の個人情報、この議会クイズ以外の目的には使用しません)

★ハガキの余白に答えのほか議会へのご要望、ご意見をいただければ大歓迎です。

★あて先/999-8301
遊佐町遊佐字舞鶴2021
役場内 議会事務局
締め切り11月25日
発表は次号です。

そなえがあれば

表紙の写真

経験することもそなえと
いうこと。各まちづくり協会で避難所開設訓練が行われている。
遊佐地区は町民体育館避難所に10月1日近隣集落から100名を超える住民が参加した。



コロナ禍での避難やプライバシー保護の観点から、室内テントを設営。
体育館の広さがあっても156人が限度とのこと。思ったより避難者を多くは収容できない。

自らの命を守るため、3日分の食料の備蓄や、普段服用している薬を常に「備える」ことが大切だ。なお、危機管理では、聞き取りにくい防災無線放送の確認のために、テレホンサービスを開設している。

(☎25-0086)

編集室より

日沿道の開通が近づいている。現在「遊佐・比子IC」まで開通し、いよいよ遊佐にも高速道路がやってきたわけである。

5年度中に「遊佐・鳥海IC(丸子地内)」まで、そして8年度には県境含む北庄内の全線が開通の予定だ。道路から見る鳥海山はとも素晴らしいことだろう。

ちなみに、「酒田みなとIC」から秋田の「岩城IC」までの料金は「無料」。知らない方も多いようなので、お知らせまで。

(本間 知広)

発行人

議長 土門 治明

議会広報常任委員会

- 委員長 阿部 満吉
- 副委員長 佐藤俊太郎
- 委員 斎藤弥志夫
- 委員 齋藤 武
- 委員 那須 正幸
- 委員 本間 知広